

氷川まりこさんと掘り下げる 【日本文化とその根っこ】



講師

書籍編集者
伝統文化ジャーナリスト

氷川 まりこ Mariko Hikawa

文化の点が線につながっていく醍醐味を味わう

日本文化を象徴する芸道の茶道や華道、香道。能や狂言などの芸能。そして世界的に注目を集める禅。これらは室町時代のある時期に高度に洗練され、現代につながる形へと姿を整え、今日に至ります。

そもそも文化とは、人が営む暮らしから生まれてくるものです。そして人は、身を置く空間に、身体的精神的な影響を大きく受けています。畳を敷いた部屋、空間を仕切る襖、天井など、現代の私たちの暮らしの空間がほぼ形を表した室町時代——ことに8代将軍足利義政の時代の「東山文化」に、日本の「根っこ」を見出すことができます。

この時代にある種の到達点へと至った芸道や芸能を概観し体験で楽しみながら、もてなし・想像力・死生観・精神性・生活力、さらに総合的な美意識について考えます。方法論は違っても同じ「根っこ」をもち、線としてつながっていることを感じて、通底する日本文化の本質を味わいましょう。

氷川 まりこ

10/29 月

東山文化とは何か

1

18:30-21:30

現代につながる日本文化の根っこともいべき「東山文化」について、時代背景や建築様式の変遷をたどってみたいと思います。さらに日本文化の理解に欠かせない「神と仏をひとつなるものとして受け入れてきた精神性」についても考えます。

12/12 水

無にはじまり無に帰する
能の死生観

4

18:30-21:30

【装束の着付け見学】

能という芸能がどのように大成されたかをふりかえり、狂言と能の関係性や能楽堂の構造など、舞台を観て楽しむための基本をおさえます。そして、能における表現の特徴ともいえる「無駄をそぎ落とした抽象性」について考えます。

※小鼓のリズムの体験に変更させていただく場合があります。

11/15 木

茶道がはぐくんだ
主客のもてなし術

2

18:30-21:30

【薄茶の飲み方体験】

茶を飲むという行為を芸術の域にまで高めた茶道について紐解きます。なぜ「お点前」は必要なのか、流派による「理」の違いとはどのようなものか、根底にある「合理性」を理解し、真の「もてなし」とは何かを考えます。

1/9 水

花を「立てる」、
直ぐなる精神性

5

18:30-21:30

【なげ入れ体験】

花見の起源にさかのぼり、神仏とのかかわりのなかで育まれた花が芸道としての「いけばな」へと発展していく過程をたどります。現代のいけばなの三代流派や花会についても知識をひろげ、命ある花を扱うことの難しさを体験を通して理解します。

11/29 木

香りを「聞く」、
繊細で豊かな想像力

3

18:30-21:30

【聞香体験】

洗練された香り当てゲームである香道。古典や和歌の素養が随所にちりばめられた「組香」の構造を理解して、日本文化における和歌の重要性と会記にこめられた雅なる世界を味わいます。

1/28 月

すべての日常に通ずる
禅の生活力

6

18:30-21:30

【坐禅の呼吸体験】

日本仏教の宗派について概観し、禅が発生した背景、禅の宗派の特徴を把握します。そして、坐禅とは何か、禅の修行僧の生活とはどのようなものか、禅の食作法などについて学びます。また、マインドフルネスと禅の違いについて考えます。

日本文化の本質を「味わう」

学術的な理解よりも、体験を通して理解し、自分自身の言葉で「日本文化とはどのようなものか」を語り合いながら、考えや味わい方を深めることに重きをおいて進行します。

講師プロフィール

氷川 まりこ ひかわ まりこ

横浜エフエム放送で開局準備から番組の企画・編成を担当。その後、フリーの放送作家、雑誌記者、編集者として幅広くトレンドの取材を重ね、雑誌『Hanako』では創刊準備から携わる。1990年代以降は、能、狂言、茶、禅、花、香など自らが一流の師のもとで稽古・経験を重ねてきた伝統文化、伝統芸能に目を向け、現代人の視点や感覚を重視した「伝統」の紹介を続けている。

豊かな経験と取材に裏づけられた知識を基に、多岐にわたるジャンルを縦横につなげて時代や文化をまるごととらえる力は評価が高く、多くの人間国宝や家元から取材の指名を受けている。

■主な著書、企画・構成・編集

『能の新世紀』(小学館)

『能はこんなに面白い!』観世清和・内田樹(小学館)企画・司会・構成

『もしも利休があなたを招いたら』千 宗屋(角川oneテーマ21)取材・構成

開催概要

日程	2018年10/29(月)、11/15(木)、11/29(木)、12/12(水)、2019年1/9(水)、1/28(月)
回数	6回
時間	18:30-21:30 (3時間)
定員	20名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(税込)
お勧めしたい方	◎茶道、香道、能楽、華道、禅を初めて学ぶ方 ◎体験を通して日本文化および通底する美意識の理解を深めたい方 ◎日本文化について紹介する、語る機会がある方 ◎自身が学ぶ茶道や禅の関連領域を学び、理解を拡げ深めたい方

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>



参加者

講座名	氷川まりこさんと掘り下げる【日本文化とその根っこ】 <input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名	
所属・役職	
フリガナ	
氏名	
住所(資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報の提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いいたします。また、お申込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<https://www.keiommcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関する質問等がございましたら、右記までお問合せください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人) ※夕学五十講、クロシグは慶應カード割引のみ適用
【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。
◇20%割引: 108,000円(税込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合
◇10%割引: 上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以上にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社の提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人) ※夕学五十講、クロシグは対象外
agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。
詳しくは下記までお問合せ下さい。

お問合せ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階
株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiommcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。